

# 千葉県の在宅医療推進の課題や方向性について

資料1-1

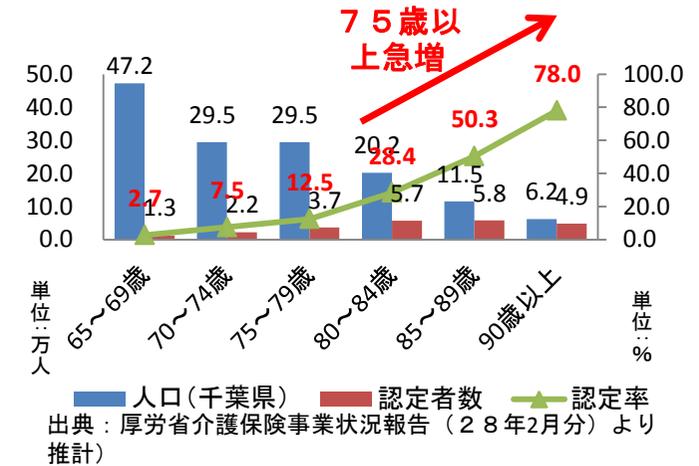
千葉県健康福祉部健康福祉政策課より資料提供

## 1. 圧倒的に増える後期高齢者数

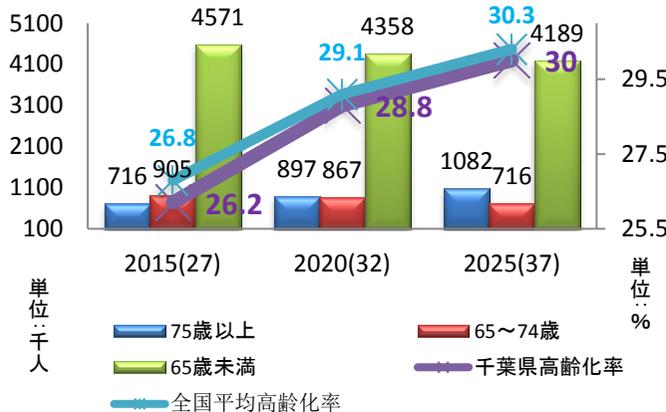
平成27年（2015年）から37年（2025年）までの間に、75歳以上人口は全国第2位のスピードで増加し、しかもその増加数も人口規模が全国第6位であることから大規模

- 総人口は、平成37年には27年に比べ約20.5万人減少する一方、75歳以上の高齢者人口は、約36.6万人の大幅な増加が見込まれます。なお、75歳未満人口はすべての世代で減少します。
- 要介護認定率を見ると、80歳を越えると約3割以上が要支援・介護者になり、年齢が上がると更に加速して85歳から89歳までの約半数、90歳以上では約8割が要支援・介護者となります。
- また、後期高齢者になると訪問診療の実施件数も劇的に増加します。

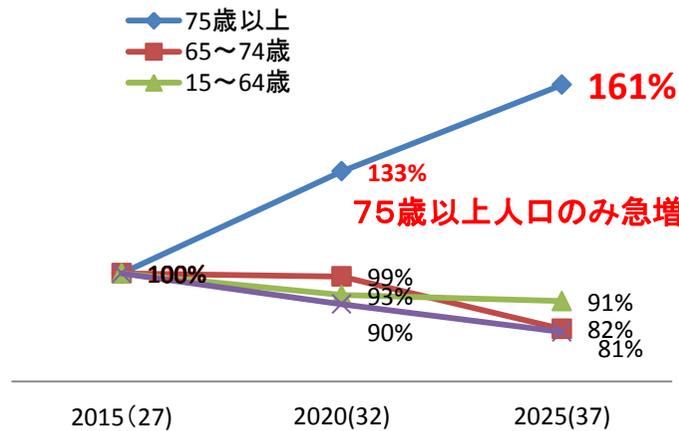
表③ 千葉県の高齢者人口と要介護・要支援認定率



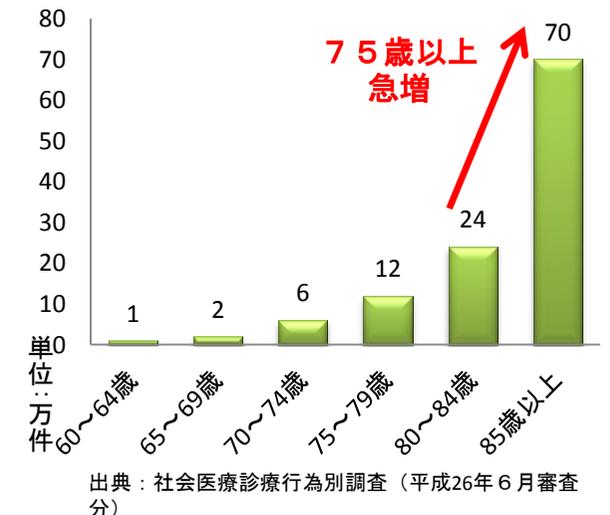
表① 千葉県の人口将来推計



表② 千葉県年齢階級別人口対27年増加率



表④ 全国年齢階級別の訪問診療の算定件数

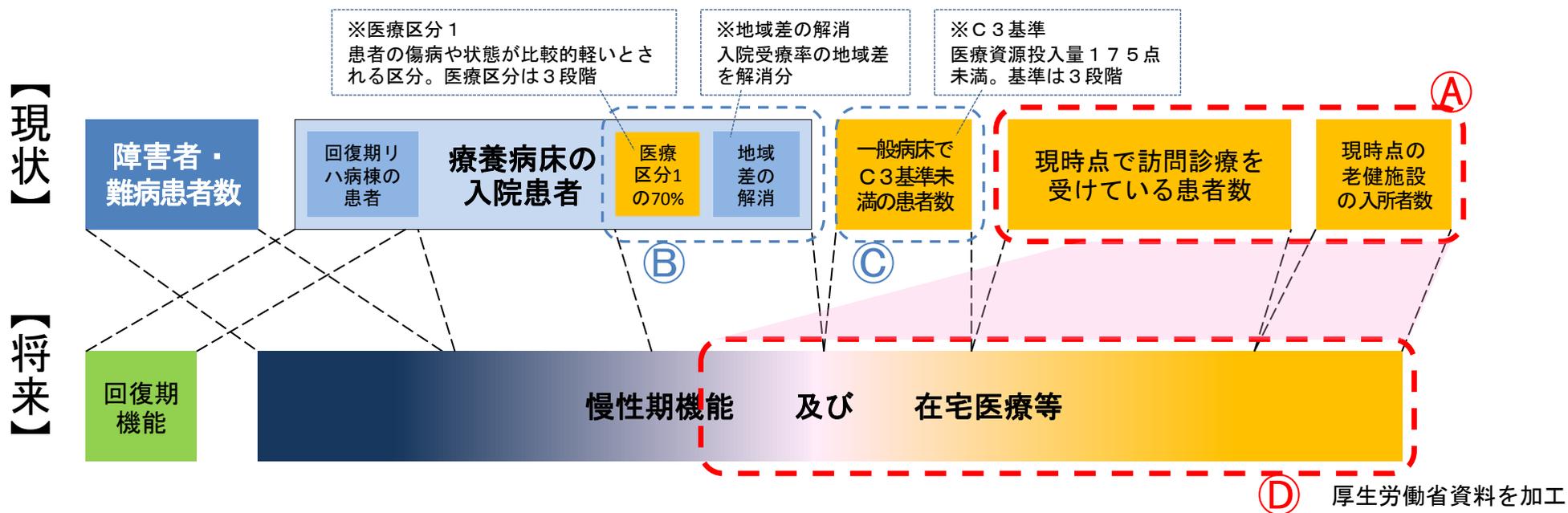


## 2. 病床機能の再編で求められる在宅医療等の強化

病床機能の再編では、在宅医療等では、現状で病院の入院医療で対応している患者への対応が求められることとなります。

### 国が示した新たな在宅医療等再編のイメージ

在宅医療等 = 居宅、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が療養生活を営むことができる場所であって、現在の病院・診療所以外の場所において提供される医療



再編後の在宅医療等 (④) は、現在の在宅医療患者 (①) に加えて、病院の入院患者のうち比較的病状が安定している療養病床の入院患者 (②) と一般病床の入院患者 (③) に対応しなければならない。

※ 図はイメージであり在宅医療等の需要増には高齢化に伴う需要増が含まれることとなります。

○在宅医療等の強化に当たっては、単に訪問医療や往診に対応する診療所等を増やすだけでなく、併せて新たな医療需要に応じた質の確保も必要になります。

### 3. 高齢化と医療機能再編で増える在宅医療等の需要

千葉県の在宅医療等の需要は、平成37年（2025年）までに現在の1.8倍となり、約3.5万人の増加が見込まれます。

#### 千葉県の在宅医療等需要推計

在宅医療等の患者数（単位：人/日）

平成25年

44,172

3.5万人増  
約1.8倍

平成37年

78,766

在宅医療等の患者数の医療圏別患者数

医療圏	千葉	東葛南	東葛北	印旛	香取海匝	山長夷	安房	君津	市原
25年	7,759	10,680	10,743	4,411	2,120	3,359	1,789	1,985	1,326
37年	15,329	22,651	19,127	7,054	2,517	4,919	2,064	2,866	2,239
H26訪問診療実施診療所数	84(12.5%)	116(11.4%)	114(14.8%)	46(11.9%)	28(17.4%)	44(17.3%)	24(27.0%)	20(10%)	15(9.5%)
1施設あたりの訪問診療件数	102	75	108	76	13	51	36	23	38

在宅医療等の需要増に対応するための医療資源がどれくらい必要か、粗い推計を行うと下表のとおりとなります。

出典：医療施設静態調査

項目	平成26年	平成37年	増加数
在宅療養支援診療所数(か所)	323	581	258
在宅療養支援病院数(か所)	29	52	23
在宅患者訪問診療実施医療機関数(か所) (月当たり、診療所+病院)	592	1,066	474
在宅患者訪問診療実施件数(件) (月当たり、診療所+病院)	42,892	77,206	34,314

今後10年足らずの間に、現在の倍の医療資源により実施件数を増加させるイメージとなります。

※具体的な医療資源の整備目標は、在宅医療実態調査により市町村ごとの整備目標を推計する予定です。

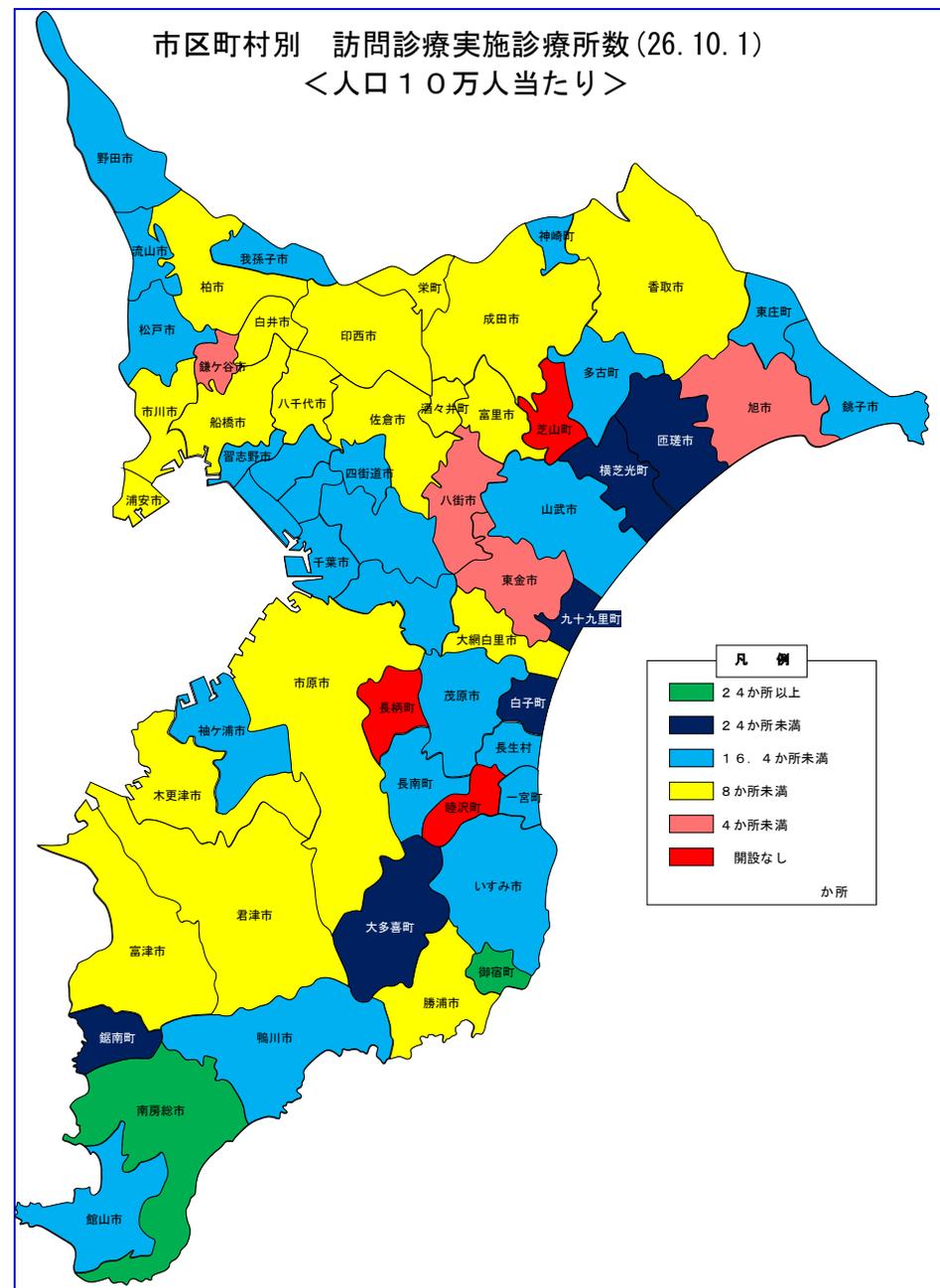
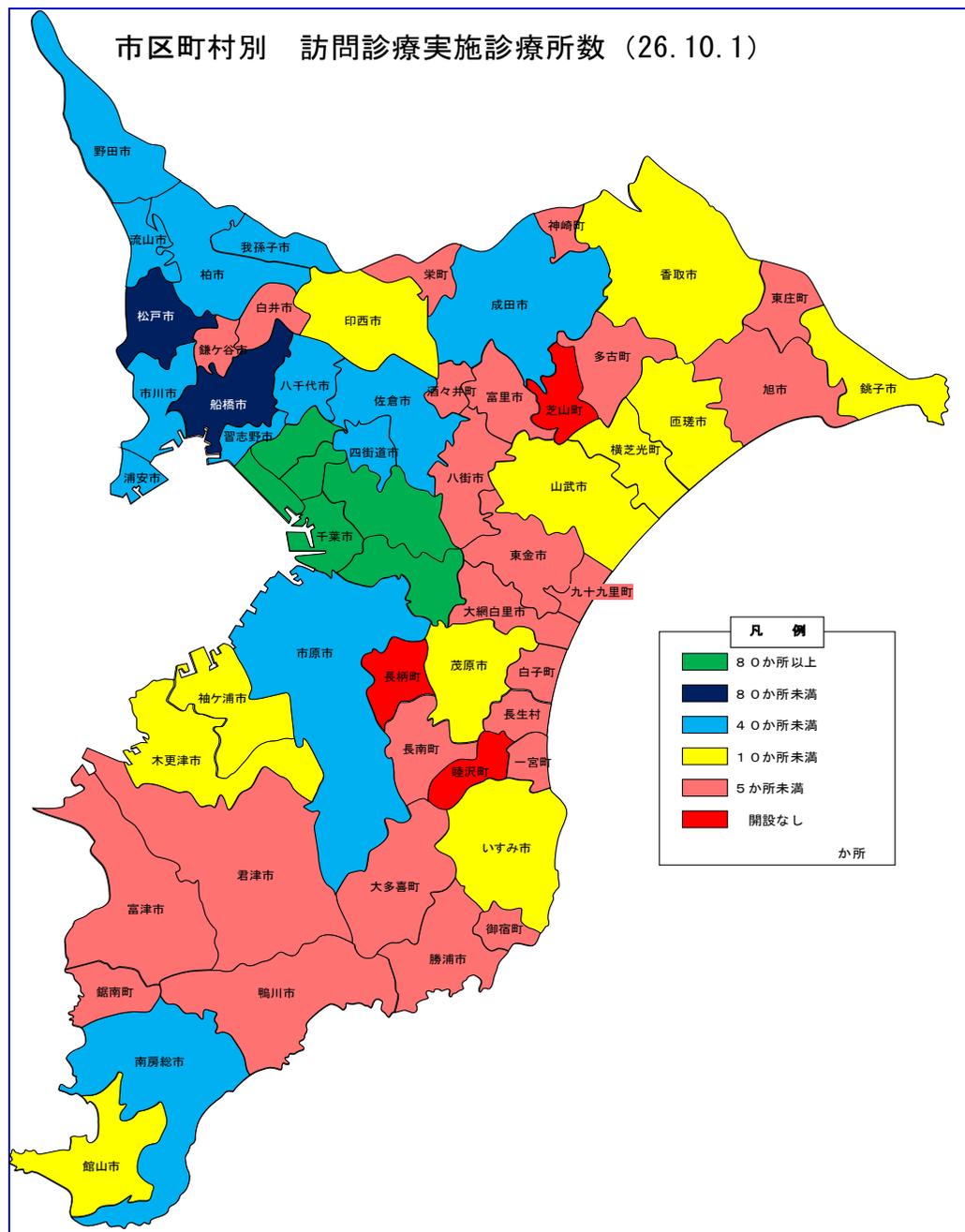
## 4. 乏しい在宅医療資源

在宅医療等提供体制の整備が他県にも増して必要な本県の関係医療資源は、現在のところ全国でも極めて低い水準にあり、深刻な状況にあります。

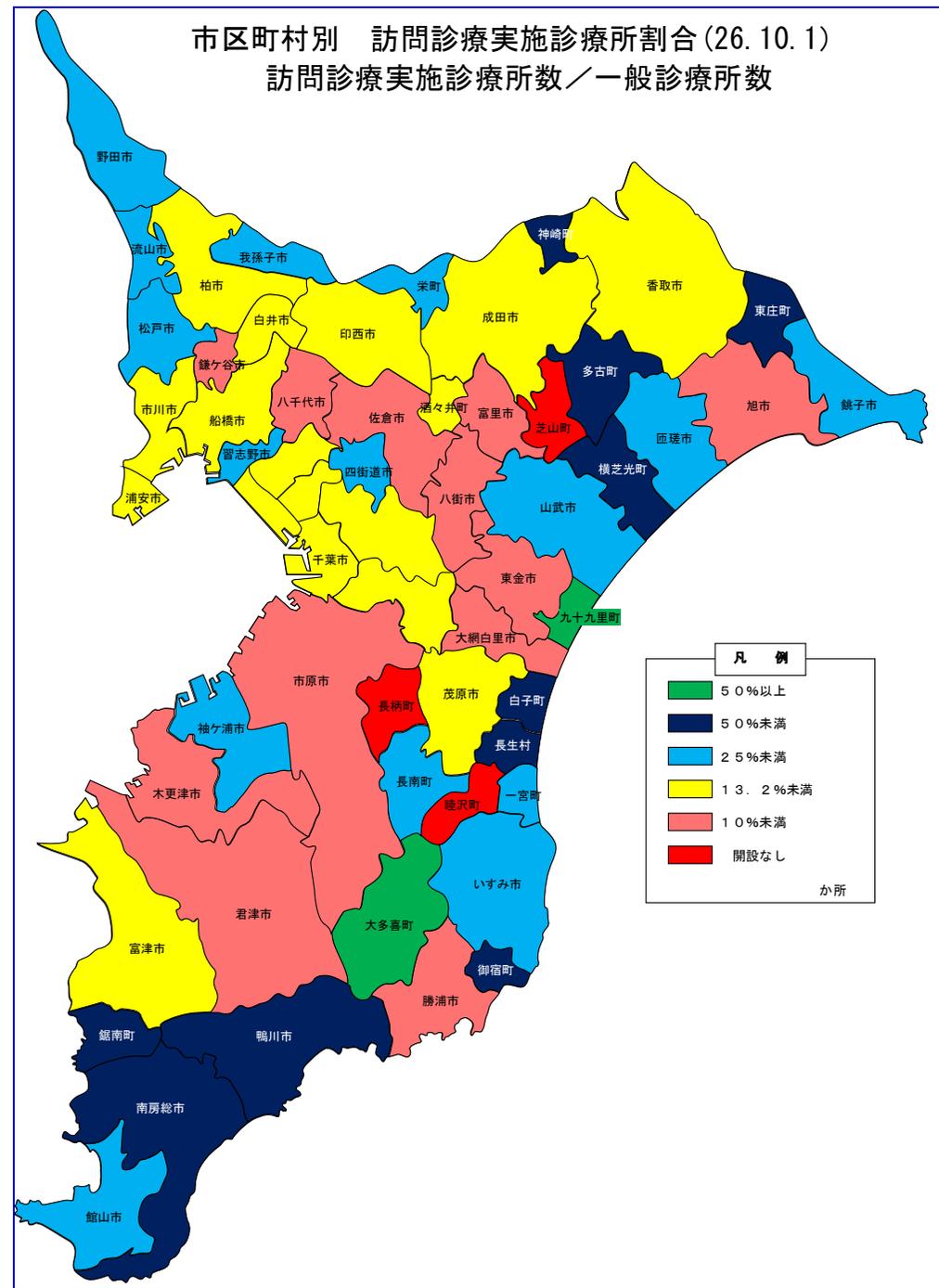
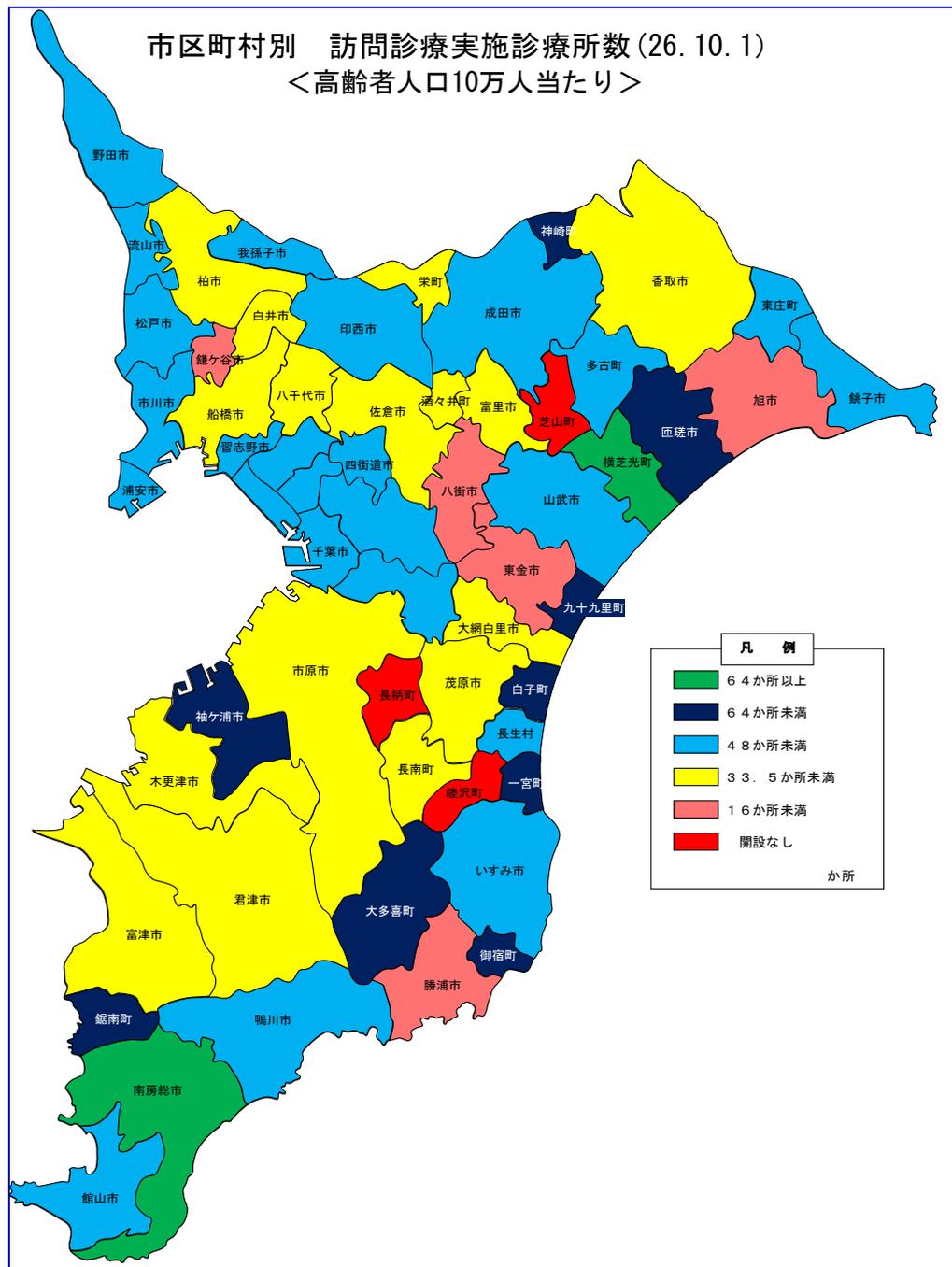
		千葉県	全国	順位
訪問診療	訪問診療実施診療所数(65歳以上人口10万対)	31.3箇所	62.4箇所	47位
	全診療所に占める訪問診療実施診療所の割合(65歳以上人口10万対)	13.2%	20.5%	46位
	訪問診療実施病院数(65歳以上人口10万対)	6.4箇所	8箇所	35位
	在宅療養支援診療所数(65歳以上人口10万対)	21箇所	43箇所	42位
	在宅療養支援病院数(65歳以上人口10万対)	1.8箇所	3.1箇所	38位
訪問看護	訪問看護ステーション数(65歳以上人口10万対)	18箇所	24箇所	41位
	訪問看護ステーション看護職員常勤換算/箇所	3.3人	3.7人	40位
その他	医師数(人口10万対)	182.9人	233.6人	45位
	就業看護職員数(人口10万対)	849.3人	1,187.7人	45位
	歯科衛生士数(65歳以上人口10万対)	288人	352人	41位

極めて低い水準

# 4. 在宅医療資源の状況

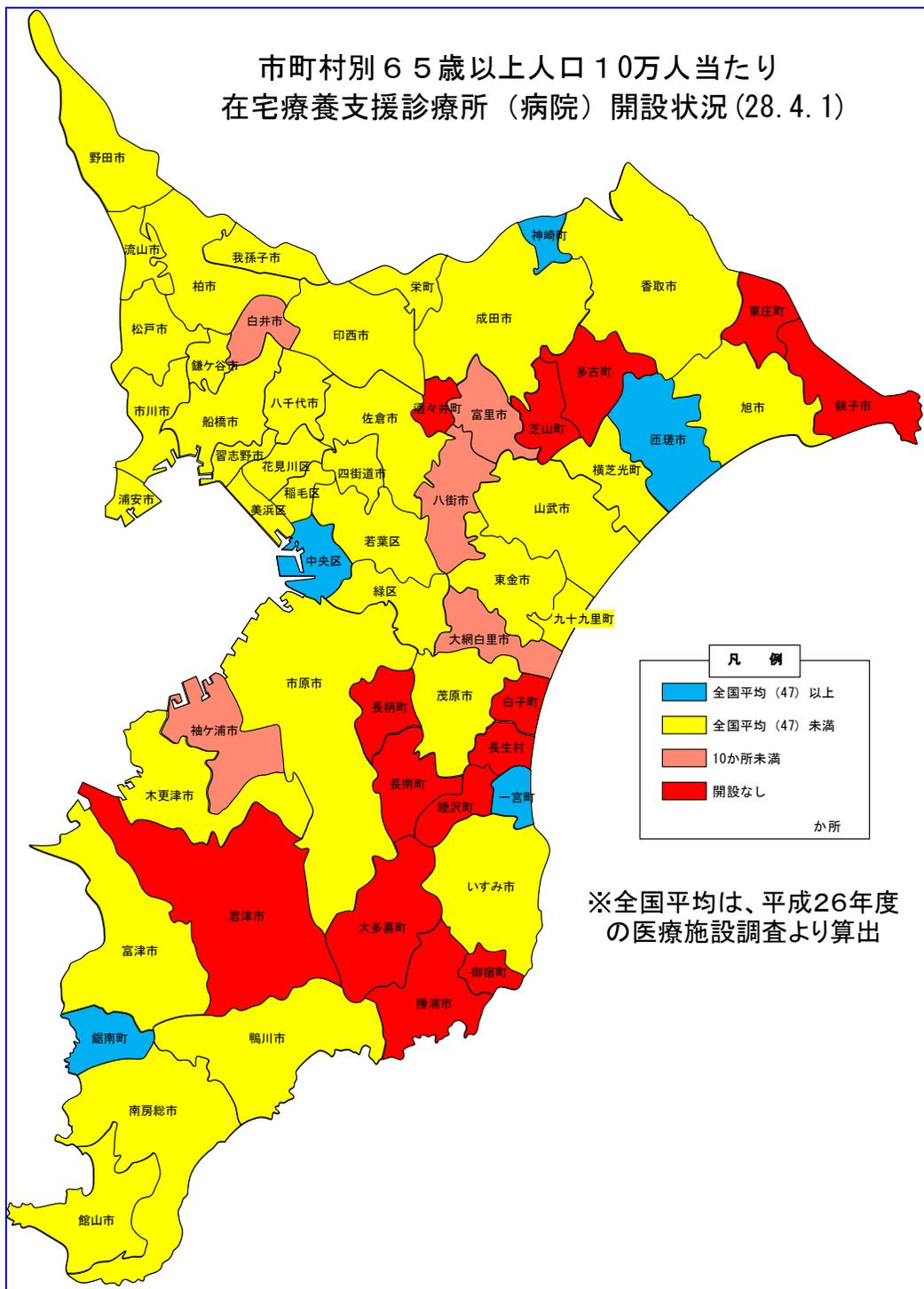


# 4. 在宅医療資源の状況

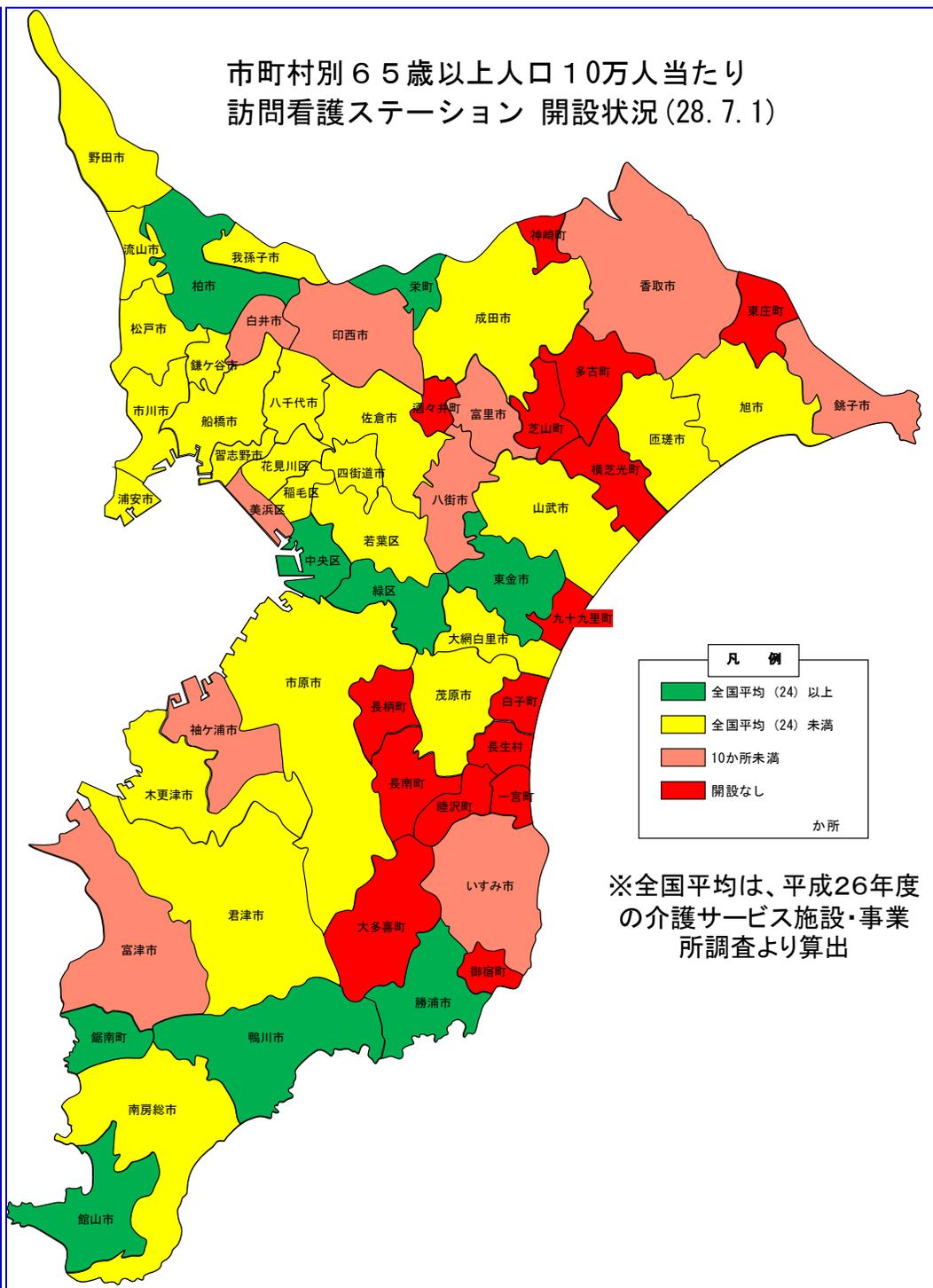


# 4. 在宅医療資源の状況

市町村別65歳以上人口10万人当たり  
在宅療養支援診療所（病院）開設状況(28. 4. 1)

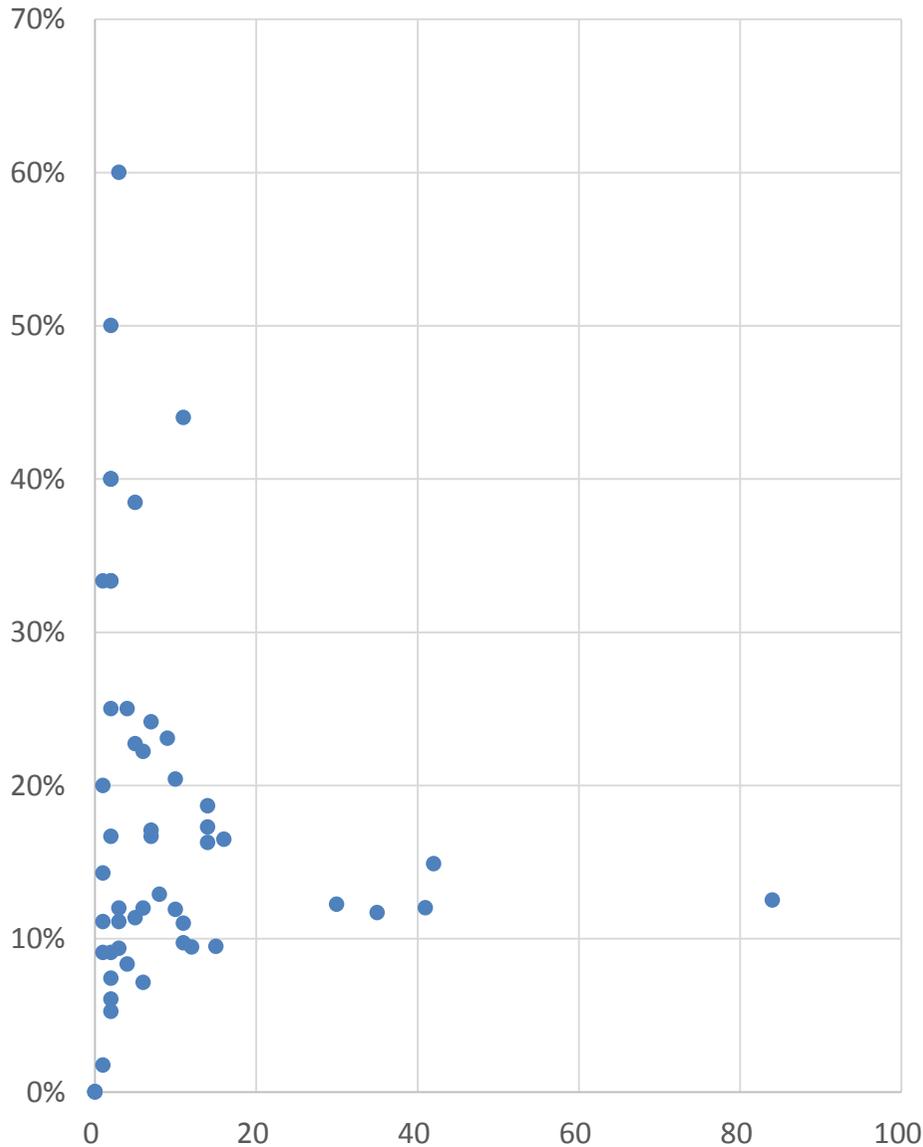


市町村別65歳以上人口10万人当たり  
訪問看護ステーション開設状況(28. 7. 1)



# 訪問診療実施診療所の状況

訪問診療実施診療所数と割合の散布図



在宅医療に係る地域データ集に基づき作成 (H26.10.1現在)

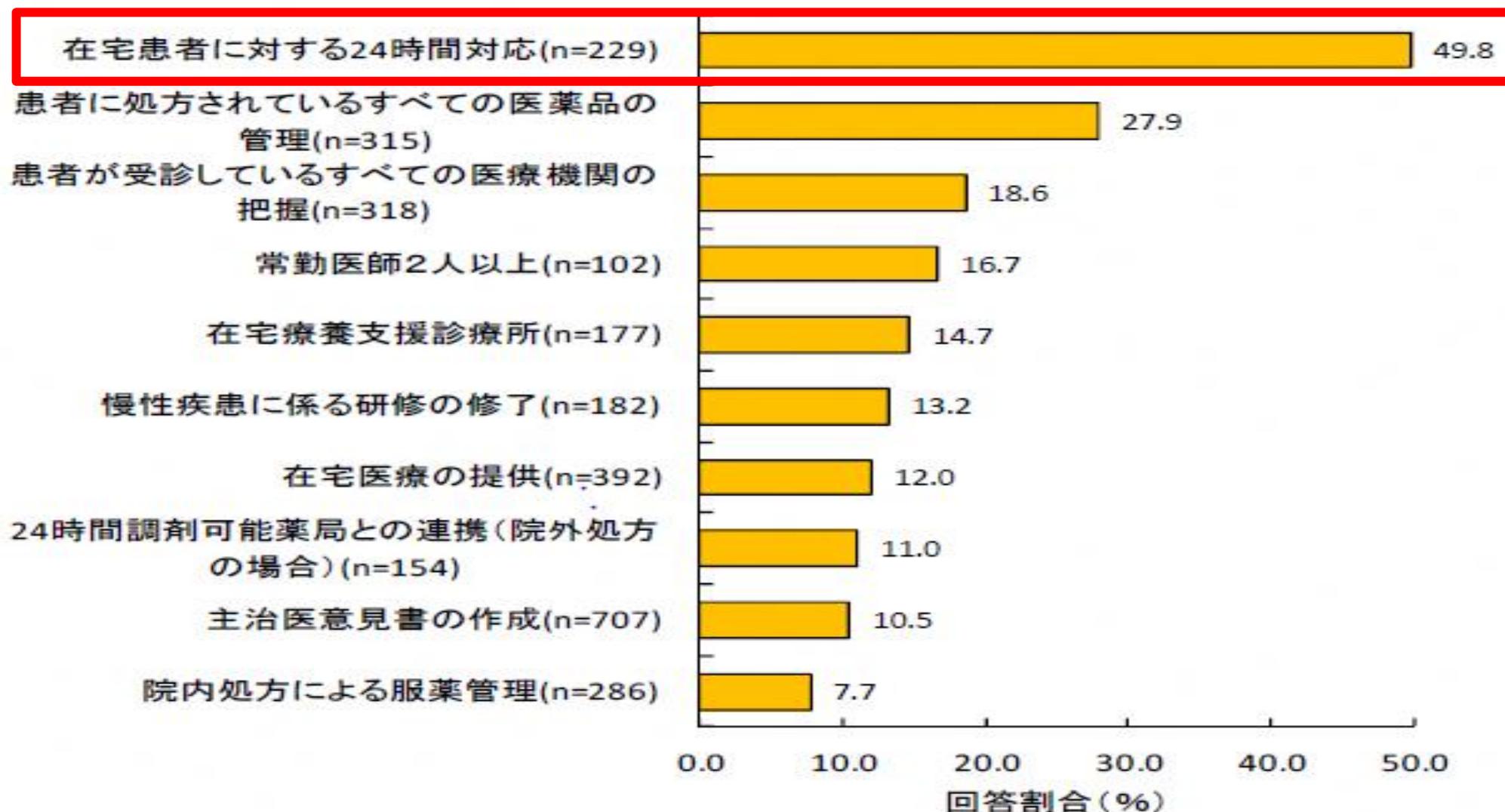
訪問診療実施診療所数と割合の相関表

		訪問診療実施診療所数	
		20未満	20以上
訪問診療実施診療所の割合	30%以上	九十九里町(3)・大多喜町(2) 南房総市(11)・東庄町(2)・ 白子町(2)・御宿町(2)・横芝光町(5) 長生村(2)・鋸南町(2)・神崎町(1)	
	15%以上 30%未満	鴨川市(4)・多古町(2)・匝瑳市(7) 銚子市(9)・いすみ市(5) 山武市(6)・四街道市(10) 長南町(1)・我孫子市(14) 野田市(14)・袖ヶ浦市(7) 館山市(7)・一宮市(2) 習志野市(16)・流山市(14)	
	15%未満	栄町(1)・茂原市(8)・印西市(6) 白井市(3)・成田市(10)・香取市(5) 酒々井町(1)・富津市(3) 浦安市(11)・佐倉市(11) 市原市(15)・八千代市(12) 大網白里市(3)・富里市(2) 勝浦市(1)・君津市(4) 八街市(2)・木更津市(6) 旭市(2)・東金市(2)・鎌ヶ谷市(1) 芝山町(0)・睦沢町(0)・長柄町(0)	千葉市(84) 松戸市(42) 船橋市(41) 市川市(35) 柏市(30)

## 4. 在宅医療資源の状況

- 在宅医療を実施している医師の一番の負担は、「在宅患者に対する24時間対応」
- 医師の負担が大きい。

現在実施していて負担の大きい項目(上位10項目)

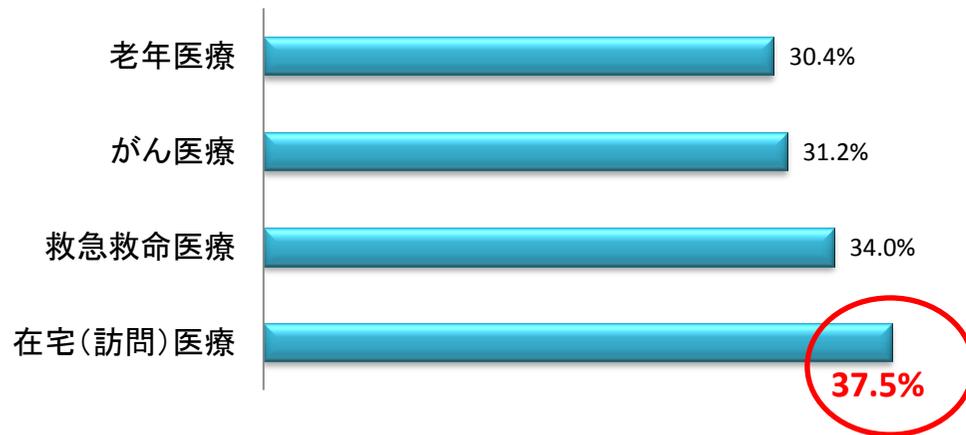


## 5. 県民の希望をかなえるために

県民が、県に最も力を入れてもらいたいのは「在宅（訪問）医療」。  
県民が、人生の最期を迎える場所として最も希望する場所は、「自宅」。  
でも、圧倒的に病院で最期を迎える方が多いという現実があります。

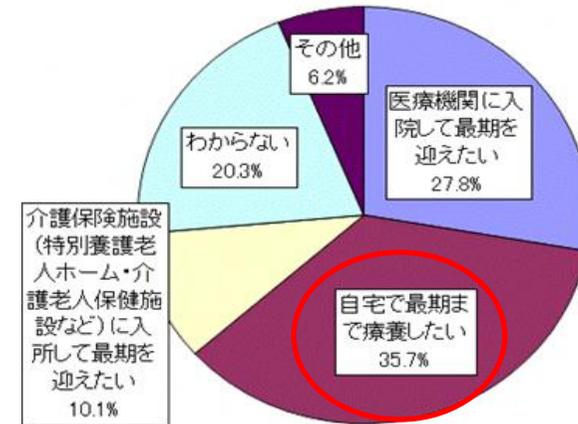
問 県に力を入れてほしい医療は何か？

(平成26年度県民調査)



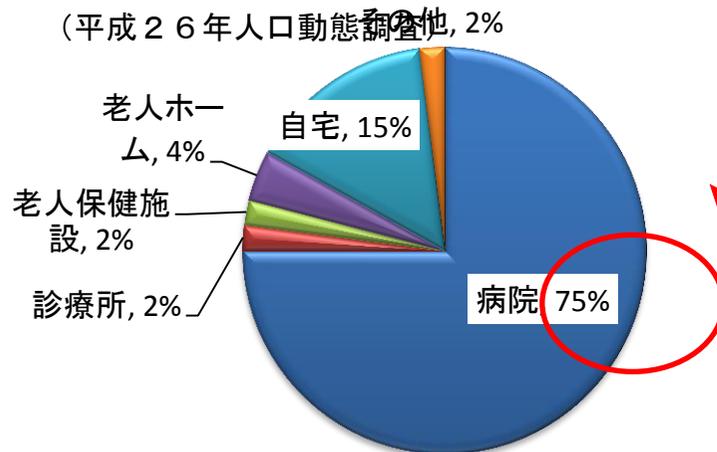
問 人生の最期をどこで迎えたいか？

(平成26年度千葉県インターネットアンケート調査)



県民の死亡場所

(平成26年人口動態調査)



希望と現実にギャップ